

会 議 録

令和6年7月20日調製

審議会等名	令和6年度第1回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和6年7月2日（火）午前10時～
開催場所	三条市立図書館本館 ひめさゆり会議室
傍聴者の有無	なし
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>倉品委員長 若月副委員長</p> <p>山宮委員 佐藤委員 吉田委員 鈴木委員 まるの委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>（生涯学習課）</p> <p>小林課長 永井課長補佐 泉田係長 大橋主査</p> <p>（指定管理者）</p> <p>岡館長 近藤副館長 加藤総務責任者 夏目三条営業所長</p> <p>峯村三条営業所員</p>
報告	<p>(1) 令和5年度図書館事業報告について</p> <p>(2) 利用者アンケートについて</p>
議題	(1) 読書会について
その他	
岡館長	(あいさつ)
小林課長	(あいさつ)
岡館長	<p>(配付資料の確認)</p> <p>議長を倉品委員長にお願いする。</p>
倉品委員長	<p>(あいさつ)</p> <p>2番の「報告」からお願いする。</p>

岡館長	資料(1) 令和5年度図書館事業報告についての説明
倉品委員長	質問、感想等どうか。
山宮委員	資料(1) P5の表に おはなしコロリン「秋の下田で昔話を語る会」とあるが、「おはなしコロリン」とは下田独自の言葉か。
岡館長	「おはなしコロリン」というボランティア団体の名前です。下田を中心に活動をされている団体です。
若月副委員長	本館については、入館者数、利用冊数、貸出者数とも増加し、施設も立派で喜ばしいことではあるが、利用の減っている分館はもう少し本館と均衡が取れるように、何か利用が増えるような取り組みを行ってもいいのではないか。分館において本館の資料の検索や貸出等ができるように、今後考えるべきではないか。
岡館長	資料の登録者数をご覧いただくと、漢学の里だけが若干減っているが、栄、下田、嵐南は伸びている。まちやまができて新しいので、「行ってみたら、図書館があるからここで借りよう」となったケースはあるだろうが、今後は距離的なものもあるので、それぞれの分館に落ち着いていくのではないか。嵐南は分室の「図書室」なのでイベント開催は難しいが、栄や下田では「おはなしコロリン」さんのようなボランティアによるイベント等も行っているのでしたらく様子を見ていただきたいと考えている。
倉品委員長	新しい図書館のオープンが令和4年の7月ということは、令和5年のデータには、旧館の4、5、6月の情報と7月のオープン以降の情報が含まれているのか。そうであれば、単純に比較できるものではないのではないか。
若月副委員長	P4～5の指定管理者による自主事業の中で、講演会と称して「人生をグリム童話から学んだ」、「どうぶつ絵本のできるまで」、「北前

	船と廻船問屋」等は、魅力的な内容なのに参加者が少なくもったいなく感じた。
岡館長	PR不足というより、PRの方法や対象をどこに持って行くかということもあったかもしれない。今後の検討課題としたい。
倉品委員長	一つ要望したい。今年度と昨年度の比較表の一番最後に増減の数値を入れていただくと、その都度計算しなくてわかりやすいので、次回からお願いしたい。
岡館長	次回の資料作りはもう少し丁寧にわかりやすくしたい。
倉品委員長	資料(2)利用者アンケートの結果について報告をお願いします。
岡館長	資料(2)利用者アンケートの結果について説明
倉品委員長	質問等ありましたらお願いします。
吉田委員	新本は毎月何冊くらい入っているか。今月の新本コーナー等は設けているか。
岡館長	新本コーナーは、1階の総合案内スタッフがいる場所の右手に、数ヶ月分置いている。冊数は手元に資料がないため示せない。
鈴木委員	「今後求めるサービス」のところで、「開館時間の延長・短縮」が順位2位になっているが、延長なのか短縮なのか、どう解釈すればよいか。
岡館長	「電気がもったいないから短縮した方が良いのではないか」というような内容がご意見箱に時々入っている。しかし、公民館、その他公共施設で実施しているように、皆様の利便性を考え、大学生、専門学校生、病院の先生、看護師等、時間の不規則な方を柔軟に受け入れるため、短縮ではなく現状維持としていることについては、十分にご理解いただけているものと考えている。 開館時間延長について、22時より後というのは考えにくい。

倉品委員長	<p>1つの行に2つの設問項目が入っているとわかりにくいので、面倒でも延長で1行、短縮で1行とした方が良い。</p> <p>以下、予約・リクエスト・HP・SNSについても、わかりづらい部分があるので表記に配慮をお願いしたい。</p>
岡館長	わかりやすく工夫をしていきたい。
若月副委員長	延長については大変ありがたく思っている。これ以上延長は無理だろうが、今後の検討課題としてはどうか。
佐藤委員	利用者数に比べ回答者数が少なく驚いた。私も本館と下田分館を利用しているが、アンケートを実施していることに気づかなかった。ぜひアンケート期間を見直してもらいたい。
岡館長	今後の課題として検討していく。
若月副委員長	<p>アンケートの結果は夏期、冬期で異なる数値が出る場合があるのではないか。</p> <p>また、アンケート回収100枚というのは素晴らしいが、場合によっては「アンケートお願いします」といった声掛けをしたらよいのではないか。</p>
岡館長	今後の課題として検討していく。
吉田委員	入館者数は、毎日調べているのか。学生であるとか本を借りに来る人とかの内訳はどうやって調べているのか。
岡館長	入館時にカウントしている。詳しくは副館長から。
近藤副館長	入館者数は、入り口にセンサーがついており、それで数えている。単純に入館者数しか数えられず、年齢、性別等の内訳はわからない。貸出冊数などはシステム上で統計できるようになっている。
鈴木委員	カウンターを利用する人には声がけできるが、自動貸出システム装置を使う人には、アンケート用紙が置いてあるだけでは、素通り

	されてしまうので、置き場所や声かけ等に工夫をお願いしたい。
岡館長	置き場所等についてもできるだけたくさんの方からアンケートに 応えていただけるよう工夫していきたい。
まるの委員	次回のアンケート実施はいつか決まっているか。
岡館長	現在検討中であるため、しばらくお待ちいただきたい。
まるの委員	昨年度のアンケートは年度末だったりで慌ただしかったので、年 度末とはいわず、もう始めた方がいいと思う。日程等についても一 緒に考えていきたいと思った。
岡館長	できるだけ早急に検討して進めていきたい。
倉品委員長	1年間に何回実施するかについては、まだ話し合っていないのか。
岡館長	年間を通してやるのか、区切ってやるのかについても早急に検討 したい。
倉品委員長	見通しを立てるためにも考えていただきたい。 アンケートは今の状況、皆さんの声を拾うために行うものであり、 そこから見えてきた事について、今後どうしていくかを検討する ことが必要。総括の部分でそれが触れてあると良い。
岡館長	今回、総括として「今後どうしていくのか」、「分析」という部分ま で示せなかったことから、次回のアンケートでは、そこに繋げられ るよう検討する。
倉品委員長	印刷して市民の皆さんにご覧いただければ双方向になって良い。ア ンケートの回答した内容がどう反映されたかについて知りたい市 民もおられる。検討していただきたい。
岡館長	皆様から頂いたご意見等にはすべてお答えし、皆様からご覧いた だけるように本館に掲示している。今回のアンケート結果に関し ても、皆様への周知方法について併せて検討を行う。

倉品委員長	3の議題(1)読書会について説明をお願いします。
岡館長	議題(1)読書会についての説明
倉品委員長	スケジュール案の前に、その前段の説明として何かあるか。
若月副委員長	<p>自分が新潟で仕事を行う場所は「クロスパルにいがた」と「ほんぼーと」など、こういった図書館等を利用して読書会活動をしているが、自分たちがやりたいということで行っているのだから、費用も必要最低限度に抑え自ら資料を購入している。研修についても全て実費である。</p> <p>各グループの活動に対し敬意を表すが、自主的に行っていることなので、図書館の郷土資料でしか閲覧できないとか、コピー不可といったものについては、無償コピーも問題なしかと思うが、会員が10名であれば、その人数分の枚数ではなく原本1枚のみとして、あと必要な分は団体から自主的に行ってもらうべきものではないか。</p>
岡館長	<p>何が平等かということにはなるが、読書会加盟団体として登録している特定の団体だけに、コピー枚数の制限を設けるのは難しい。自主的な活動だが図書館との関わりもあって、一般の方であれば利用料金が必要な部屋を無料で貸すということも行っている。</p> <p>これからも読書会を行いたいという方を減らしていくということではなく、読書会への支援の範囲を再確認するため今回ご検討いただくもの。説明会などを開いても理解いただけないのは、その背景にこれまで読書会が図書館と一緒に伴走してきたということもあるようで、新しい図書館、新しい職員になったからといって、一気に切り替わるというのは難しい。</p> <p>しかしながら、どの読書会からも同じように会の構成人数を5人</p>

	<p>以上としていただくということは、活動する上の大前提としたい。</p> <p>提出頂いた名簿に名前が記されていても実際の利用は1名だけということがある。その人が来なければ、部屋の利用がないのに他に希望される市民への貸し出しができない状態となる。また、提出名簿に代表者の連絡先しか記載されていない場合、団体と連絡がとれない状況になる。</p> <p>今後、住所等、個人情報の管理を徹底し、会員名簿、連絡先を提出していただくようにしたい。</p>
倉品委員長	これは図書館の仕事なのか。会場は図書館だが、活動については生涯学習課が担当するのが筋ではないか。
小林課長	読書会は生涯学習課、図書館と、明確に区切ることはできないものである。
倉品委員長	生涯学習課の方はノウハウをたくさん持っているので、アドバイスなどしてもらえればと思うが。
小林課長	今日の資料もすべてこういう案件については協議をした上で作成しており、図書館だけではなく、一体のものと捉えてよい。
若月副委員長	<p>かつてスタッフに郷土史家の方などがいて、そういった育みの中で、今日まで続いている経緯があると思う。</p> <p>研修先が、県外というものが複数見られる。これは全て無償で行ったのか。</p>
岡館長	バス利用は無償である。
若月副委員長	遊びに行っているのではないか。
岡館長	遊びに行くわけではなく、勉強に行っている。私も同行し、確かに皆さんが勉強するということが活動されている。ただ、三条市のバスを使っており、行き先が県外で長時間となるとドライバーも2

	<p>人必要となる。ガソリン代も何もかも無料である。他の団体も市バス利用はしているが、行き先は三条市近辺であり、団体の平等性を考えた場合はどうか、議論を要すると思う。</p> <p>また、資料のレファレンスは行うが配布となると著作権の手続きも行う必要がある。これまで市と伴走してきた経緯があるため、いろんな手続きの全てを図書館に求められる。</p> <p>図書館職員がその団体からやるべき事以上を求められている状況も発生しているので、読書会加盟団体の公平な利用の在り方について、協議いただきたい。</p>
佐藤委員	読書会加盟におけるその団体の経緯や歴史はどうか。
岡館長	手元に資料が無く、直ちに回答できない。
倉品委員長	20年くらい前から加盟されているのではないか。
岡館長	何十年も前からということではない。
倉品委員長	<p>もう一度お話しするとか、きちんと周知する必要はあるが、図書館だけではなく生涯学習の方も一緒に話をしたり聴いたりしても良いと思う。</p> <p>議題に戻るが、対応策についてはどうか。</p>
鈴木委員	<p>私の団体は今年度からボランティアグループへ移行した。市バスの利用は近郊と理解しており、職員が到着した時間から8時間以内で戻れる場所として周知されていたのに、いくつかの県外の行き先が何故許可されたのかが不思議である。今一度、市バスの利用について、近郊で、かつ確実に時間内に戻って来られるスケジュールであるかを精査し、要望に応えられない場合は、断ることも必要ではないか。乗車する会員が5人以上いないと利用できないなど、ルールを厳格化するべきではないか。</p>

倉品委員長	その他、何かあればお願いします。
若月副委員長	社会教育委員会議の席上で、図書館に関わる運営計画が説明され、読書会のあり方とか、時間管理とか、図書館の運営についての質問、意見、改善点が出た。皆さんにも共有した方がいいのではないかな。
岡館長	今資料が手元にないので、次回とさせていただきます。
若月副委員長	社会教育委員会議においても発言のあった著名な作家の講演会等、そうした大人が参加できる企画もされたらよいのではないかな。
岡館長	次回お答えできるように資料をチェックして参りたい。
倉品委員長	本日はこれで終わりとしたい。進行を岡館長にお返りする。
岡館長	閉会あいさつ